

放射能

はなぜ

嫌われるのか？

放射線の健康リスクは、癌だけではない。人の心にも大きなストレスを与える。そしてそれは時に、20年から30年という長きにわたって続くことがあることが知られている。単なる放射線でも放射性物質でもない、いわゆる「放射能」という記号として、社会に拡散し、人の心に働きかける。この記号としての「放射能」はなぜ嫌われるのか？ 心理学的なアプローチと、その結果を踏まえての社会的な検討について、考える。

※このシンポジウムは、JSPS 科研費 25245064「リスク認知とソーシャルメディア情報拡散過程の進化論的解明：基礎研究から社会実装へ」の成果を発表するものである。

心理学者と地域の対話

シンポジウム

2015. **12.19** 土

14:00 開場 13:30 入場無料

コラッセふくしま 4階 多目的ホールA

福島県福島市三河南町1番20号

- 14:00 - 14:05 趣意説明 佐倉統 (東京大)
- 14:05 - 14:30 行動免疫班 研究報告 平石界 (慶應大)
- 14:30 - 14:55 行動免疫班 地域との対話 半杭真一 (福島県立農業短期大) × 池田功毅 (中京大)
- 14:55 - 15:20 ツイッター班 研究報告 小森政嗣 (大阪電通大)・松村真宏 (大阪大)
- 15:20 - 15:45 ツイッター班 地域との対話 佐々木光洋 (ささき牛乳) × 三浦麻子 (関学大)
- 15:45 - 16:00 休憩
- 16:00 - 16:25 社会班 研究報告 武田徹 (恵泉女学園大)
- 16:25 - 16:50 社会班 地域との対話 大森真 (テレビユー福島) × 佐倉統 (東京大)
- 16:50 - 17:30 総合討論 司会：佐倉統 (東京大) 指定討論者：宮崎真 (福島医大)

主催



JSPS 科研費基盤研究(A)「リスク認知とソーシャルメディア情報拡散課程の進化論的解明：基礎研究から社会実装へ」

お問い合わせ 東京大学大学院情報学環佐倉研究室 info@sakuralab.jp